

会議録（要点筆記）

会 議 名	第4回 米原市部活動地域移行検討委員会
開 催 日 時	令和7年2月25日（火）19時00分～20時30分
開 催 場 所	米原市役所1階 コンベンションホールB
出 席 者	出席者： 谷川尚己委員、樋口昭委員、辻村真衣委員、早崎有紀委員 横田仁司委員、中島裕次委員、堀江広明委員、田中理華委員 事務局： 学校教育課 北川英樹課長、谷本政信コーディネーター 谷川俊浩主幹 スポーツ推進課 平山健治課長補佐 生涯学習課 平山武史課長
議 題	協議事項 ・米原市部活動地域移行答申（案）についての検討
会 議 内 容	1 開会あいさつ（委員長あいさつ） 2 協議事項 ○米原市部活動地域移行答申（案）についての検討

委員意見等	<p>米原市部活動地域移行答申（案）についての検討</p> <p><input type="checkbox"/> 答申の中の表やグラフについて</p> <p>○各中学校の部活動の部員数と設置数の表については、文化部が様々な形態で活動しているので、改めて人数の確認が必要だと思う。（委員）</p> <p>○アンケート調査結果のグラフが分かりにくいので、円グラフにするなど工夫が必要。（委員）</p> <p><input type="checkbox"/> 地域移行に向けてのスケジュールについて</p> <p>○本市の基本計画及び課題についてのスケジュールについては、当初令和5年から7年度の「改革推進期間」で進めていかなければならないと考えていた。令和8年度から令和13年度の「改革実行期間」を地域への移行期間として捉えるとかなり長い年月を要してしまうことになる。あくまでも計画なので、積極的でスピード感のあるスケジュールを組む必要があるのではないか。（委員）</p> <p>○学校現場にいる者として部活動の地域移行については、本当に課題が多い。地域移行後のイメージがあまりつかない。今は、本市と同規模で地域移行を成功させているようなところのモデルを引き続き検証・研究していく必要があると思う。（委員）</p> <p>○本市だけでなく、県下の広域の視野で考えることも大切。しかし、市町の実態が違うので、本市の現状に合わせて取組を進めることが大切。「改革実行期間」は、前期の取組について、中間評価をしながら後期の取組を進めると示されている。本市にあった形でスケジュールを組むことが</p>
-------	--

大切。また、方針を定めたとしても、実施状況に合わせて、柔軟な形で環境を整備する必要がある。(委員)

□地域指導者の確保について

○地域指導者の確保についてはどこまで進んでいるのか。(委員)

→まだ本市では、指導者の確保に向けての取組はできていないので何とも言えない。県のスポーツ人材バンクについても確保が難しいと聞いている。本市においても難しいと思っているので、様々な方策が必要だと思っている。(事務局)

○米原市の少年団では、中学生の受け入れをしている団体もある。ぜひ、受け皿として、有効に活用いただきたい。色々な繋がりて指導者を発掘できることもあると思うので協力して進めたい。(委員)

○受け皿の課題が大きい。地域指導者が仕事をしながら指導を担うことは本当に大変だと思う。地域指導者への細やかな支援がないと、指導を担うのは難しいと思う。(委員)

○若い指導者は、ボランティアでは集まらない。報酬があると責任を持って指導していただける。指導者の確保に向けては、保護者の受益者負担も必要ではないか。(委員)

□受益者負担について

○費用負担について保護者の考えはそれぞれ違うとは思いますが、一定の受益者負担は必要だと思う。なるべく不満の出ない形で環境整備を進める必要がある。(委員)

○持続可能な形の環境整備を進めるには、一定の受益者負担は必要だと思う。(委員)

→費用負担などで子どもたちが活動をあきらめてしまうような事態だけは避けなければならない。持続可能な形での活動環境の整備が必要だと思う。保護者への丁寧な周知や説明が必要だと思う。(事務局)

○保護者だけに負担を求めるのではなく、行政からの支援も必要だと思う。(委員)

→県からは「地域連携」に向けて部活動指導員の拡充を計画されている。(事務局)

→「地域連携」だけではなく、「地域移行」を見据えて、地域団体への支援についても必要だと思う。(委員)